

一般質問 議:議員/理:理事者

- 2024年問題の影響アンケート結果について
- 観光誘客の推進と「観光の産業化」の見える化について

その他の質問
 ・窓口業務に「軟骨伝導イヤホン」の導入について
 ・市役所の窓口業務の適正化について
 ・災害時における避難所整備と河川監視カメラについて
 ・農地の有効活用について



新風会・公明 **安岡孝一** 議員

一般質問 議:議員/理:理事者

- 公立小学校の体育館への空調設備(エアコン)設置について
- 「ライブ字幕モニター」の導入について

その他の質問
 ・道の駅「恐竜渓谷かつやま」に屋根付き遊び場を!
 ・マイナ保険証への切り替えについて
 ・災害時の聴覚障害の方への対応について



市政会 **下道恵子** 議員

議 今年4月より「残業上限規制」が実施された「2024年問題」。これにより建設業、運送業にどのような影響が出ているのかアンケート調査を行った。労働時間の制限が影響しているかとの問いに、多少も含めて82%が影響あると回答。2024問題により人手不足の影響はあるかとの問いに、多少も含めて91%が人手不足と回答等、改めて影響の大きさが浮き彫りになった。また事業者からは厳しい状況のご意見・ご要望をお聞きした。2024年問題の影響を最も受けている建設業・運送業は地域経済の担い手でもある。この厳しい現実を受け止めて何らかの施策が必要だが、市の所見を伺う。

理 令和6年の労働時間上限規制に伴い、運送業界の人手不足が深刻化する中、市は利用者側の協力促進に向けて情報発信を行う。また、建設業界の人材確保の為、広報活動やイベントを通じて若年層の関心を高める等、今後も運送・建設業界への支援策を検討していくと共に、国や県にさらなる支援を要請していく。

議 勝山市は「観光の産業化」を市の施策の柱として取り組んできたが、この取組が着実に実りつつある。市内観光地を訪れるバスツアーに対し、入館料や食事代の助成を検討してはどうか。市内を周遊し、昼食を花月楼で取り、街中を散策する観光客も増えてくるのではないかと伺う。

また市民は、市が進める「観光の産業化」の施策に、ふるさと勝山の素晴らしさを再確認しているのではないかと伺う。この「観光の産業化」を市民に「見える化」して、市民の未来への希望となるような施策をお願いしたいが、市の所見を伺う。

理 勝山市は観光の産業化を目指し、地域の観光事業者と連携して取り組んでいる。令和5年には県立恐竜博物館のリニューアルを契機に観光客数が220万人を超えるまでに回復し、令和5年に行った観光バスツアー助成は、560名が利用。今後は中部縦貫自動車道全線開通に伴う観光促進策を検討し、観光産業のさらなる発展を目指す。また、市の広報やSNSを通じて成果や成功事例を発信し、市全体の魅力情報発信を強化していく。

議 昨今猛暑が続く中、体育の授業や部活で使用する公立小学校体育館では熱中症の危険がある。また公立小学校体育館は、災害時には指定避難場所にもなっている。全県立学校体育館については、県から令和8年から10年度に順次、固定式の冷暖房設備を導入するとの方針が打ち出された。そこで公立小学校体育館に空調設備設置を希望するが、市の考えを伺う。

理 市内公立小学校体育館への空調設備整備については、子ども達の健康管理や熱中症のリスク低減の観点から必要であると考えている。

また、体育館は基本的に拠点避難所となる為、防災の観点からも整備が重要である。

今後、空調方式（電気式、ガス式等）や費用、平常時の活用方法、人口密集度等を比較し、計画的整備を早急に実施したい。

議 鯖江市が議会傍聴席に取り入れたとある「ライブ字幕モニター」とは、議員の一般質問と理事者の答弁がほぼリアルタイムで文字化されて、モニターに表示されるものだ。これは議会傍聴席だけでなく、庁内の窓口で聴覚障害の方や高齢者で耳が聞こえにくい方にも役に立つ。ぜひ庁内での導入も検討してほしいが、市の考えを伺う。

理 「ライブ字幕モニター」を窓口のコミュニケーション手段として活用する事は、聴覚障害者のみならず、耳が聞こえにくくなった高齢者の方や、健常者にとっても窓口が騒がしい時等は、スムーズなコミュニケーションの一助になるのではないかと考えている。

また議場の傍聴席や、式典、講演会等の会場で字幕画面として投影する等、様々な活用方法が考えられ、早期導入に向け検討を進めている。

「ライブ字幕モニター」の導入については、障害のある人もない人も、共に幸せに暮らせる多文化共生社会の実現に少しでも寄与できるよう、積極的に取り組んでいく。